

第30回

2018年度 全国グループホーム等研修会 四国地区大会 in えひめ

■大会テーマ■

「変化する社会環境 変わらぬ思い」
～ 新たな時代に向けて今やるべきこと ～



サンドアートパフォーマー 田村 祐子

期日 平成30年9月3日(月)～4日(火)

会場 ひめぎんホール

主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
四国地区知的障害者福祉協会
愛媛県知的障害者福祉協会

2018年度
第30回 全国グループホーム等研修会
四国地区大会 in えひめ

◆大会テーマ◆

「 変化する社会環境 変わらぬ思い 」

～ 新たな時代に向けて今やるべきこと ～

開催目的

日本社会は少子化、高齢化により人口減少や社会保障費の増大という大きな問題を抱え、社会全体が活力を失いかけています。最近では社会保障の対象として子育て世代に対しても目が向けられるようになりましたが、問題の解決に至るにはほど遠い感があります。

このような社会情勢を踏まえ、厚生労働省から「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現にむけた改革工程が示されました。これは福祉分野におけるパラダイムシフトにより、地域コミュニティの力をつけ、地域住民の支え合いにより地域課題を解決していくという新たな福祉の枠組みですが、独り身世帯や高齢核家族が増加するなかでの実現はきわめて困難であります。また、障がい者に対する配慮にも欠け、今後、障がい者が地域コミュニティの中で取り残される恐れもあり、我々の働きかけを必要としています。

これらを受けて改正障害者総合支援法の施行と平成30年度障害福祉サービス等報酬改定が行なわれました。新たな時代に向けてグループホームをはじめ障がい福祉サービスの在り方も大きく変わりました。地域共生社会の実現が叫ばれる中、障がい者自身の尊厳を守りながらどのように思いや希望を実現していくか我々の支援力が問われています。

本研修会は、グループホーム関係者や知的障がい福祉に携わる人たちが集まり、全国の多様な実践や取り組みを学び交流を深める事により、参加者のみなさんが、事業所や地域における障がい福祉の実践に役立てていただける事を目的に開催いたします。

新たな時代に向けた変革は始まったばかりです。みなさん一緒に学び考えませんか。

主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

四国地区知的障害者福祉協会 愛媛県知的障害者福祉協会

後援

愛媛県 松山市 愛媛県社会福祉協議会

愛媛県手をつなぐ育成会 愛媛県知的障害児者生活サポート協会

開催日時・会場・定員

(1) 開催日時

- ・ 1日目：平成30年9月3日（月） 12：30～17：00（全体会）
18：00～20：00（交流会）
- ・ 2日目：平成30年9月4日（火） 9：00～11：45（各分科会）

(2) 開催会場

- ・ 1日目：全体会・交流会会場 ひめぎんホール
- ・ 2日目：分科会会場 ひめぎんホール

(3) 参加者定員

- ・ 900名（申込先着順）
- ・ 対象者：グループホーム等関係者、知的障害福祉関係事業所長及び職員世話人
相談支援事業所スタッフ、管理者、サービス管理責任者、行政、関係機関
教育機関並びに知的障害福祉と地域支援等に関心のある方。

参加費用

- ・ 研修会参加費 12,000円
- ・ 交流会費 8,000円

申込締切日

- ・ 平成30年8月3日（金）とさせていただきます。
- ・ 定員になり次第、締切りとさせていただきますことをございますので、参加希望の方は早めにお申込みをお願いします。
- ・ **無料託児所のご案内**
ひめぎんホール内に設置いたします。利用を希望される方は参加申込書に必要事項をご記入の上お申し込みください。なお、お子様について大会事務局よりお尋ねすることがございます。また、定員に達し次第締め切らせていただく場合がございます。予めご了承ください。
託児所に関してのお問い合わせ先
大会事務局 TEL：089-963-3772（はばたき園内）

日程及び内容

【9月3日（月）】

11：30 12：30 13：00 14：00 15：30 15：45 17：00 18：00 20：00

受付	開会式	行政説明	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	交流会
----	-----	------	------	----	--------	----	-----

【9月4日（火）】

8：30 9：00 11：45

受付	分科会
----	-----

（閉会式はありません。自由解散となります。）

第1日目 9月3日(月)

全体会

●12:30～13:00 開会式

●13:00～14:00 行政説明

演題「改正総合支援法と平成30年度報酬改定～地域で暮らす新たな施策～」

講師：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
課長補佐 菊池芳久 氏

●14:00～15:30 基調講演

演題「暮らしの中の意思決定支援と権利擁護」

講師：毎日新聞社 論説委員 野澤和弘 氏

略歴

1983年に早稲田大学法学部卒業。毎日新聞社に入社し津支局、中部（名古屋）報道部を経て92年に東京社会部へ。

いじめ、ひきこもり、葉害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長を経て2009年から論説委員（社会保障担当）。

社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、植草学園大学客員教授、上智大学非常勤講師など。

主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」（ぶどう社）、「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）など。

●15:45～17:00 シンポジウム

テーマ「我が事・丸ごと 地域共生社会の中での障がい者の暮らし」

司会	日本知的障害者福祉協会地域支援部会	部会長
シンポジスト	日本知的障害者福祉協会	会長
	日本知的障害者福祉協会政策委員会	委員長
助言者	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課	課長補佐

●18:00～20:00

交流会 ひめぎんホール（真珠の間）

第2日目 9月4日(火)

分科会 <9:00~11:45>

・今年度は5つの分科会を設けました。

改正障害者総合支援法の施行、障害福祉サービス等報酬改定を経て新たな地域支援の施策が示されました。大会テーマでもありますとおり大きく変わりゆく社会情勢のなか利用者の思いや希望をどう実現していくかを各分科会のテーマに沿って一緒に考えましょう。

●第1分科会●

・テーマ 「重度化・高齢化への対応、共同生活援助事業の活用法を考察する」

地域で生活する障がい者の重度化・高齢化が問題となって久しいですが、今回の報酬改定においてこの問題に対応すべく新たに設けられた「日中サービス支援型共同生活援助」を中心に、日中の支援や余暇活動、医療的ケアを含めて多角的な視点から、どのように共同生活援助事業を活用すれば重度・高齢化に対応していけるのか考えます。

*司会進行 安高泰志 氏 (愛媛県 福角会 いつきの里 施設長)

*助言者 最上太一郎氏 (熊本県 菊愛会 在宅支援センターへるぷねっと 管理者)

*発表者1 中西昌哉 氏 (京都府 世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン 所長)

*発表者2 山本 美 氏 (北海道 北海道社会福祉事業団 さっぽろ地域生活支援センター
あーねすと サービス管理責任者)

*発表者3 杉浦 陽 氏 (愛知県 愛光園 愛光園地域居住サポートセンター サービス管理責任者)

●第2分科会●

・テーマ 「必聴! 暮らしの中の意思決定支援 how-to」

障害者権利条約の批准、締結を経て厚生労働省から「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が示されましたが、権利擁護の観点からはまだまだ十分なものではありません。そこで障がい者の意思決定支援について、以前よりきめ細やかな取り組みを行ってきた実践事例をもとに意思決定支援の本質や重要性について考えます。

*司会進行 清水加津子氏 (徳島県 徳島県心身障害者福祉会 あおばの郷 施設長)

*助言者 山西 孝 氏 (山梨県 三富福祉会 サポートセンターハロハロ二番館 管理者)

*発表者1 富岡貴生 氏 (神奈川県 唐池学園 貴志園 園長)

*発表者2 篠原 愛 氏 (福島県 育成会 いわき学園 支援課長)

*発表者3 土本和則 氏 (石川県 松原愛育会 生活支援センター雪見橋
オープンセサミ城南 相談支援専門員)

●第3分科会●

・テーマ 「自立生活援助・就労定着支援 新たなチームアプローチによる地域支援」

障がい者の地域移行と就労定着を推進する施策として、新たに「自立生活援助」と「就労定着支援」が創設されました。障がい者にとってこれらのサービスが価値あるものとなるには、どう活用し、どのような支援を行えば安心して地域での暮らしや一般就労がつづけられるか、事業ごとの視点に立って連携の図り方を考えます。

*司会進行 藤本 篤 氏 (愛媛県 宗友福祉会 松山市障がい者南部地域相談支援センター
相談支援専門員)

*助言者 渡部 等 氏 (愛知県 愛光園 愛光園地域居住サポートセンター センター長)

*発表者1 小林繁市 氏 (北海道 北海道社会福祉事業団
胆振圏域障害者総合相談支援センターるびなす センター長)

*発表者2 北村友隆 氏 (大阪府 和光福祉会 熊取療育園 施設長)

*発表者3 丸山 力 氏 (岡山県 吉備の里 吉備の里なでしこ 所長)

●第4分科会●

・テーマ 「地域生活支援拠点の整備・進まぬ理由と解決策」

第4期障害福祉計画期間中にその整備が進められる事となっていた「地域生活支援拠点」ではありましたが、全国的に整備は進みませんでした。障がい者が安心して暮らせる地域づくりのためにどのように地域の実情にそって整備を進めていけば良いか、その問題点と解決策について考えます。

*司会進行 田中稔明 氏 (高知県 室戸はまゆう会 河内はまゆうホーム 管理者)

*助言者 石本伸也 氏 (香川県 もえぎの会 もえぎの里 管理者)

*発表者1 河原雄一 氏 (神奈川県 藤沢育成会 湘南ゆうき村・相談支援プラザ 施設長)

*発表者2 森口哲也 氏 (福岡県 福岡市社会福祉事業団
障がい者地域生活・行動支援センター かへむ 所長)

*発表者3 川村 圭 氏 (香川県 かがわ総合リハビリテーション事業団
高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 副センター長)

●第5分科会●

・テーマ 「世話人さん いらっしやい！」～ワールド・カフェ in 松山～

グループホームで暮らしの支援をしている世話人にとって気軽に話せる相談相手や研修に参加する機会は少なく、日々多くの悩みを抱えながら障がい者と向き合っていると思います。そこで同じ世話人どうしワールド・カフェをとおして日ごろの悩みや考えを共有して新たな気付きと学びを得てください。

※ワールド・カフェとは、カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で、メンバーの組合せを変えながら、4～6人の小人数で話し合いを続けることにより、深い相互理解や新しい知識を生み出す話し合いの手法です。

*司会進行 岸本拓人 氏 (香川県 もえぎの会 グループホーム・ライフ サービス管理責任者)

*講演 「グループホームで働いて 楽しいよね！」
山崎千恵美氏 (北海道 NIKORI いどむ 統括施設長)

*講師 知念隆生 氏 (沖縄県 海邦福祉会 高志保園 施設長)

*講師 野呂大悟 氏 (愛知県 永美福祉会 しらさぎケアホーム サービス管理責任者)